

I 教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身の調和のとれた人格形成を図り、未来を切り開くための資質・能力を育むために、以下の教育目標を設定する。

- 元気な子 ◎考える子 ○思いやりのある子

II 経営方針

<p>目指す幼稚園像</p>	<p>みんなかがやけ！One team 安心・安全・明日も行きたい幼稚園 ～人と関わり、ふれあい、つながりをつくる場に～ ○幼児・・・一人一人が自分らしさを発揮し、思い切り夢中で遊ぶことができる幼稚園 ○保護者・・・子どもを安心して預けられ、協力しようと思える幼稚園 ○地域・・・地域に愛され信頼される幼稚園 ○教職員・・・「こどもたちのために」愛情をもって取り組み、互いに研鑽し、専門性を高められる幼稚園</p>
<p>目指す幼児像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心も体も健康で、自分のことは自分でしようとする幼児 ・やってみたい、もっとやりたいと思う気持ちをもって生活し、自分なりに試行錯誤しながらあきらめずにものごとに取組もうとする幼児 ・他者と共に遊びや生活を創り出すことを楽しめる幼児
<p>目指す教師像</p>	<p>「こどもたちのために」愛情をもって取り組む教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こども一人一人の気持ちに寄り添い、幼児理解に努める教師 ○自ら学ぶ姿勢をもち自分にできることを考え、互いに研鑽し専門性を高め合う教師 ○こどもにとってよりよい生活を目指し、体験をつなげ、改善・工夫をすることを楽しみながら取り組める教師 ○保護者、近隣校・園、関係施設、地域との関わりを大切にし、つながりを深め、信頼される教師
<p>経営理念</p>	<p>1 本園の使命 幼児一人一人の資質・能力を育み、小学校教育への接続や生涯にわたる生きる力の基礎となる就学前の教育を行う。</p> <p>2 教育活動で目指すもの 幼児期は生涯にわたる人格形成を培う重要な時期である。また、小学校以降の生活や学習の基盤の育成の時期である。そのことを踏まえ、幼稚園教育要領に則った遊びを通しての総合的な指導を行い、直接体験・実感を伴う体験を通して、幼児が社会とつながりを感じられる生活を展開する。また、「就学前教育スタンダード」を踏まえた、遊びを通しての総合的な指導を行い、教育活動の意味や幼児の育ちを適時に適切な方法で発信する。</p> <p>3 将来像 幼稚園教育要領に則った幼児期の教育を確実に実践する幼稚園 幼児教育の重要性を発信できる幼稚園 園が核となり、人と人をつなげ地域の子育ての拠り所となる幼稚園</p>

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		質の高い幼児教育の実践
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領・就学前教育スタンダードの内容を充分理解し、一人一人に必要な経験が確実にできるようにする。 ・幼児と共に遊びや生活を創ることを通し、学びのある遊びが展開されるように環境の構成や援助を工夫する。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児理解や遊びの読み取りに基づく、実態を捉えた援助や環境構成を工夫する。 ○幼児が遊びや生活を十分楽しめるように、一日の組み立てや経験する内容の工夫を図るとともに、週ごとの予定を園内で共有し遊びの充実を図る。 ○自分のことは自分でしようとする意欲や生活習慣を身に付けられるよう、意図的・計画的な指導を行う。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・環境による教育の意味をよく考え、幼児がやってみたい、もっとやりたいと思えるような魅力的な環境を構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園に行くことを楽しみに思い、好きな遊びや学級全体の活動を楽しめる幼児が 90%以上になる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども主体の」意味をよく考え、こどもの思いが実現できるよう、幼児理解を深め、評価、反省、情報共有等を行い、教育の質を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を十分に発揮し、自分の思いが実現する楽しさを感じられる幼児が90%以上になる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の知的好奇心や探究心を高め、遊びに没頭する中で様々な力が身に付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことに興味・関心をもって関わり、不思議さや面白さを感じられる幼児、試行錯誤して遊ぶことを楽しめる幼児が 90%以上になる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・教師も幼児と共に心を動かしながら、幼児が様々な感情体験ができるようにしたり、人と関わる楽しさを感じられたりするような機会をつくるとともに、気持ちの調整が図れるようにその子の心に響くような言葉を考えたり指導方法を工夫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな友達との関わりを楽しんだり 自分の気持ちの調整をしたりし、人と関わる楽しさや友達と協力して遊ぶ楽しさを感じられる幼児が 90%になる。

重点領域 2		豊かな心、しなやかな体を育む
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心がわくわくするような体験を積み重ねられるようにし、しなやかな心と体をもつ幼児を育む ・人と人が関わり合うような園庭環境の工夫をするとともに、戸外での遊びを充実させる。 	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな運動遊びを楽しむ中で体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにすると共に、保育の中でコーディネーショントレーニングを取り入れ、体力向上はじめ、巧緻性、敏捷性等、様々な力が身に付くように工夫する。 ○様々な人と関わる中で友達と一緒に遊ぶ楽しさや人に優しくできる気持ちを育むと共に、思い通りにならない経験、気持ちをコントロールする経験を積み重ねられるようにする。 ○健康な生活に必要なことが身に付けられるようにすると共に、食に対する意識を高め、心身共に健康な体を育む。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の実態から（日常生活における動作等からも含め）幼児が楽しんで体を動かして遊べるような運動遊びやコーディネーショントレーニングを意図的に取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から体を動かそうとし、体を動かして遊ぶことが好きな幼児が 95%以上になる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な体づくりのために、一人一人にあった基本的な生活習慣の定着を図るとともに、月1回の「ほけんだより」や管理栄養士と連携した食育を取り入れたりしながら、家庭との連携を図り、実態に合った指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが整い、健康な生活に必要なことを行える幼児が 90%以上になる。

3	・園庭の空間の使い方、遊具などを工夫することで様々な遊びが生まれ、人と関わるきっかけになったりするような環境にする。	・園庭での遊びに変化が見られ、戸外で遊ぶことを楽しめる幼児が90%以上になる
4	・発達過程の中で起こる育ちに必要な幼児同士の思いのぶつかり合いを見極め、園全体の共通理解のもと、対応し、教師との温かな関わりの中で、相手の気持ちに気付いたり人との関わり方を学べるようにしたりする。	・人との関わりを通して、自分と違う思いに気付いたり、自分の気持ちを調整したりし、「友達と遊ぶことは楽しい」と回答する幼児を100%にする。
5	・教師が意図をもって、幼児の実態や季節に応じた絵本を選んだり、絵本を通して様々な人との関わりや、様々な思いや感情に気付けるような機会をつくったりする。(ブックさん・図書館サービス・出張お話し会など)	・絵本に親しみ、絵本を見るのが楽しいと思える幼児を100%にする。

重点領域3		保護者や地域とつながる開かれた幼稚園
中期経営目標	・関係諸機関と連携し、地域の幼児教育センター的役割を果たす。	
短期経営目標	○幼稚園の教育内容を積極的に発信し、地域のセンター的役割を果たす。 ○地域の教育力や保護者の力を取り込み、幼児が様々な人との交流を通して、伝統文化や人への親しみをもてるようにする。 ○保護者理解に努め、子育てが楽しいと感じられるような教育内容、参観の仕方を工夫する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	・園の教育内容について園だよりをはじめ、ホームページ、Instagramなどによる発信や、保育参観、保護者会、学級懇談会等で、一人一人が年間9回以上は保護者にわかりやすく発信する。	・保護者アンケートで、「幼稚園は教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている」の肯定的回答率を100%にする。
2	・日頃から人との関わりの中で、応答する心地よさを感じることができるよう、幼児一人一人の実態を捉えて指導する。	・4月から比べ「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「はい」などを、自分から進んで言える幼児を100%にする。
3	・保護者が園行事に参加したり、協力したりすることを通して、我が子の育ちをはじめ、他の幼児の育ちや教育内容に対する理解が図れるようにする。	・保護者アンケートで「園行事に参加したり、幼稚園に協力したりすることで、我が子をはじめ他の幼児と関わることは楽しかった」という肯定的回答率を80%にする。
4	・毎日の施設開放・未就園児親子登園「かんがるひろば」、地域に出掛ける活動、小中学校、保育園との交流等を通して「地域に開かれた幼稚園」となるよう一人一人が自分のできることを取り組んでみようとする。	・様々な人に親しみの気持ちを感じ、挨拶をしたり地域に関心をもったりする幼児が80%になる。